

めざそう、持続可能な未来を
かわごえ誠一オフィシャルサイト
www.kawagoeseiichi.com

葛飾区議会レポート



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

かわごえ誠一 プロフィール

●1963年3月川崎市生れ ●立石在住35年 ●防災士
●学童保育、PTA、子育てネットワーク、図書館友の会、
三番瀬保全活動などに参加 ●都議秘書を経て2013
年区議選初当選 ●2021年三期目当選 ●かつしか区
民連合副幹事長 ●区議会所属：建設環境委員会委員長
議会運営委員会・区民サービス向上対策特別委員会

◆2023年の年頭のごあいさつ◆

■寒中お見舞い申し上げます■

◆新型コロナウイルス感染症 Covid-19 が拡大してから3年ぶりの行動制限の無い年末年始となりましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。◆その中で罹患された方にお見舞いを申し上げますとともに、医療・福祉等の現場で尽力いただいている皆さまに心から敬意を表します。◆今、社会が日常を取り戻そうとしています、この3年間のコロナで露呈した社会的格差が無くなったわけではありません。◆SDGsには「誰ひとり取り残さない」という理念が掲げられていますが、様々な困難を自己責任として切り捨てるのではなく、お互いに支え合う社会を目指す必要があります。◆人のつながりが「資源」だと言われますが、持続可能な未来を目指すためには様々な場で信頼性を持った人と人とのつながり～社会関係資本（ソーシャルキャピタル）を築くことがとても重要になると考えています。◆一人一人が孤立せず、関わり合える社会こそがSDGsへの道筋であり、それに向けての支援体制を構築するために力を尽くしてまいります。◆今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆かつしか区民連合、令和五年度予算要望書提出◆

◆去る10月21日にかつしか区民連合として青木かつのり区長に令和5年度予算編成に対する要望書を提出しました。◆特に私立保育園への誤支給などを検証し、内部統制制度に基づいたリスクマネジメントの構築を求めるとともに、新型コロナ対策、物価高騰への対策、SDGsの実現、災害対策、文化振興、地球温暖化や生物多様性など環境政策の推進、子育て支援体制整備、不登校や特別な支援の必要な子どもの学びの保障、ヤングケアラーなどケアを担う家族への支援など区制全般について要望をしました。



青木区長に要望書を手渡す

※公職選挙法により、議員からの区内有権者への年賀状などのあいさつ、会合などへの会費以外の金品の寄附行為などは禁止されています。どうぞご理解いただけますようお願いいたします。

タウンミーティング 2023

主催：
かつしか区民連合

葛飾区議会議員

かわごえ誠一 オンライン学習会のお知らせ

テーマ：子どもの遊びから未来を考える

～「遊び場」から子どもの育ち・地域のつながりを考える～

と き：2023年2月3日（金）19:00～21:00

オンライン開催 定員 50名

参加費無料

◆オンライン開催とします。事前に右のGoogleフォームからお申し込み下さい。
参加者に後日 zoom URL をお送りします。

■講演：「下町」から遊びを発信する



子ども・子育てフェスタに出動した移動式遊び場

～遊び場の出前「移動式遊び場・プレーカー」
& 町工場と「あそび大学」で目指すもの～

講師：須藤昌俊さん 一般社団法人SSK会長

◆活動紹介：葛飾で遊びの輪を広げたい

「あそび☆かつしか」の活動から

◆「遊び」と聞くと軽く見られがちですが、子どもの成長にとって「遊び」は欠かせないものです。◆過去、地域の空き地などで子どもが集まり、遊びの中で五感を働かせ、人と人との関係や社会性を学んでいきました。◆しかし、現在地域の中で子どもが自由に遊べる環境が無くなっています。◆子ども区議会や少年の主張大会でも毎年のように「公園で思い切り遊びたい」との声が子どもたちから上げられていますが、子どもたちの声に応えられないのは大人の社会の問題でもあります。◆公園で遊ぶと苦情が寄せられるような現代、未来の社会を担う子どもたちの育ちを社会で考え、環境を整える必要があります。◆今回は、墨田区で活動しているSSKの代表須藤昌俊さんをお招きし、「移動式遊び場＝プレーカー」の取組みや、大学と連携し、町工場の廃材を活用した「あそび大学」の取組みを伺い、子どもの遊びと社会について考えたいと思います。



申込みフォーム
QRコードを読み取り
お申し込み下さい。



講師：須藤昌俊さんプロフィール

●1987年生まれ ●通称すーさん
●一般社団法人SSK会長 ●社会教育士 / 体験学習ファシリテーター
●中学・高校で墨田区のジュニア・リーダー活動に従事し大学入学後も青少年教育活動にかかわる ●大学卒業後に墨田区役所に入庁 ●2015年に墨田区教育委員会生涯学習課に異動。その後、社会教育主事の発令を受け、墨田区社会教育の発展に尽力 ●2013年に子どもの体験活動を推進するためSSKを設立し、キャンプを中心に様々な子どもの体験活動を展開してきた ●2020年に区役所を退職し、SSKの活動に専念。2021年に、クラウドファンディングを活用して、移動式遊び場を整備し、遊び環境の向上に取り組んでいる。

■連絡・問合せ先■

かわごえ誠一 090-2932-7315 《e-mail》info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト <https://www.kawagoeseiichi.com>

**令和4年葛飾区議会 第4回定例会報告**

本会議で報告をするかわごえ

**◆令和4年度第四次補正予算
48億7,565万円議決**

◆去る11月29日から12月15日の16日間の会期で令和4年葛飾区議会第4回定例会が開かれました。◆今定例会では12月15日の最終本会議で物価高騰緊急対策や新型コロナウイルスワクチン接種費用などを含む**第四次一般会計補正予算48億7,565万円**が議決されました。◆下記に補正予算の一部概要をご紹介します。

- ◆**物価高騰緊急対策**：福祉施設・医療機関など物価高騰の影響を価格転嫁できない業種に対しての支援を実施します。
- ◆**地球温暖化対策推進事業経費**：太陽光発電やEV車への助成が好調なため、省エネルギー設備等導入費助成を追加計上しました。
- ◆**観光レクリエーション事業経費**：柴又の川甚跡地の活用に向けた計画の策定への経費を計上しました。
- ◆**総合教育センター管理運営経費**：日本語の初期指導の必要な子どもが増加したことへ対応するために「にほんごステップアップ教室」の指導者を増員します。

◆葛飾区SDGs推進計画（素案）報告

◆今定例会では区民サービス向上対策特別委員会において「（仮称）葛飾区SDGs推進計画（素案）」が報告されました。◆2030年のゴールに向けての具体的な取組みが7つのプロジェクトとして提示されました。◆SDGsでは2030年のゴールを目指してバックカastingでの目標設定と、フォローアップの体制整備が重要ですが、今後実施計

画の中で進捗管理する考えが示されました。◆さらにSDGsの実現には多様な関係者や区民の参画が欠かせませんが、協働で取組むための環境整備を注視していく必要があります。◆この推進計画は1月16日までのパブリックコメントを経て今年度中に策定される予定です。

◆「葛飾区役所の位置を定める条例」議決

◆今定例会の最終本会議で「区役所の位置を定める条例」が可決されました。◆立石駅北口再開発事業は、平成8年に地権者による再開発研究会が発足し、京成押上線連続立体化事業と連携しながら、第一種市街地再開発事業（権利変換方式）として検討されてきました。◆一方、区役所総合庁舎整備事業は庁舎の老朽化、耐震性、水害対策などへの対応のため平成20年に基金の積み立て開始、平成22年からの「あり方検討会」を経て立石駅北口再開発ビルへの入居（床取得）での整備の方向性が示され、災害時の司令塔機能確保や環境性能向上、ユニバーサルデザインを基にしたサービスの導入の検討など様々な議論がなされてきました。◆今回、地権者の同意が85%を越え、生活再建への計画もそれぞれ進められている中、区役所の位置を立石駅北口再開発地域に定めるための条例（位置条例）が上程され、全議員の投票により賛成31票・反対9票で議決されました。◆これまで、過去の議論を尊重しながら、地域の合意形成や立石のポテンシャルの評価、地域の歴史の記録化・継承を求め続け、エリアマネジメントの導入や、博物館による立石駅周辺の調査などを実現してきました。◆今後、立石の様々な資源を活かすとともに、地域の記憶を次世代に伝えることが急務です。◆また、再開発工事中のまちを空洞化させないための取組みも検討が必要です。◆まちの記憶を伝え、新しく命を吹き込むのは人の力です。◆相違を乗り越え、人と人とがつながる「まち育て」が試されています。

葛飾区議会議員 かわごえ誠一 オンライン学習会 2023**臨時 タウンミーティングのお知らせ****立石のこれまでとこれからと**

～「まちづくり」から「まち育て」へ・人のつながるまちを目指して～

と き：2023年2月10日（金）19:00～21:00◆オンライン開催とします。事前に右のGoogleフォームからお申し込み下さい。
参加者に後日zoom URLをお送りします。**参加費無料****■講演：東京下町・立石界隈の歴史と文化
～立石らしさを構成する要素を探る～****講師：谷口 榮さん** 葛飾区観光課学芸員・歴史学博士**■コメント：イラストレーターの目から見た立石の人とまち****ゲスト：かつしか けいたさん** まんが家・イラストレーター

◆「立石」は古来から巨石信仰の地として、戦後は町工場の街として移ろい発展してきましたが、今、平成8年から検討されてきた北口駅前再開発で変わろうとしています。それぞれの立場での正しさがある中でまちづくりの難しさを改めて感じさせられました。ハードとしての「まちづくり」が進みますが、今ある価値を確かめ、次の世代につなげるための取組みが求められています。これからは地域の歴史を共有し、人と人とが出会い、対立を乗り越えてつながる「まち」をどのように育むのが試されています。今回は立石地域の歴史と文化を谷口榮さんから伺い、「まち育て」を共に考えたいと思います。

申込みフォーム
QRコードを読み取り
お申し込み下さい。**講師：谷口榮さんプロフィール**

◆1961年葛飾区生まれ ◆国士舘大学文学部史学地理学科卒・博士（歴史学 駒澤大学） ◆大学講師等歴任 ◆NHKテレビ「プラタモリ」に出演 ◆現在：葛飾区産業観光部観光課学芸員 ◆東京家政大学兼任講師、日本考古学協会理事、観光考古学会理事、日本歴史学協会文化保護特別委員、境界協会顧問など歴任 ◆研究テーマは、江戸・東京の下町における環境と人間活動の変遷を通史的に研究。その他、文化遺産を活用した文化観光、地域的な飲食文化なども調査研究対象とする。◆主な著作：『東京下町に眠る戦国の城葛西城』（新泉社）、『東京下町の前方後円墳 柴又八幡神社古墳』（新泉社）、『増補改訂版江戸東京の下町と考古学―地域考古学のすすめ』（雄山閣）、『東京下町の開発と景観』古代編・中世編（雄山閣）、『千代田聖地「立石」物語』（新泉社）、『都市計画家 徳川家康』（MdNコーポレーション）などを上梓。

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。かわごえ誠一 web → <https://www.kawagoeseiichi.com>**問合せ
連絡先****かつしか区民連合**

〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内

電話 03-3695-1111（代）

FAX 03-3697-0137

かわごえ誠一連絡先・問合せ先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail info@kawagoeseiichi.com